

今井 (ならけん いまい)

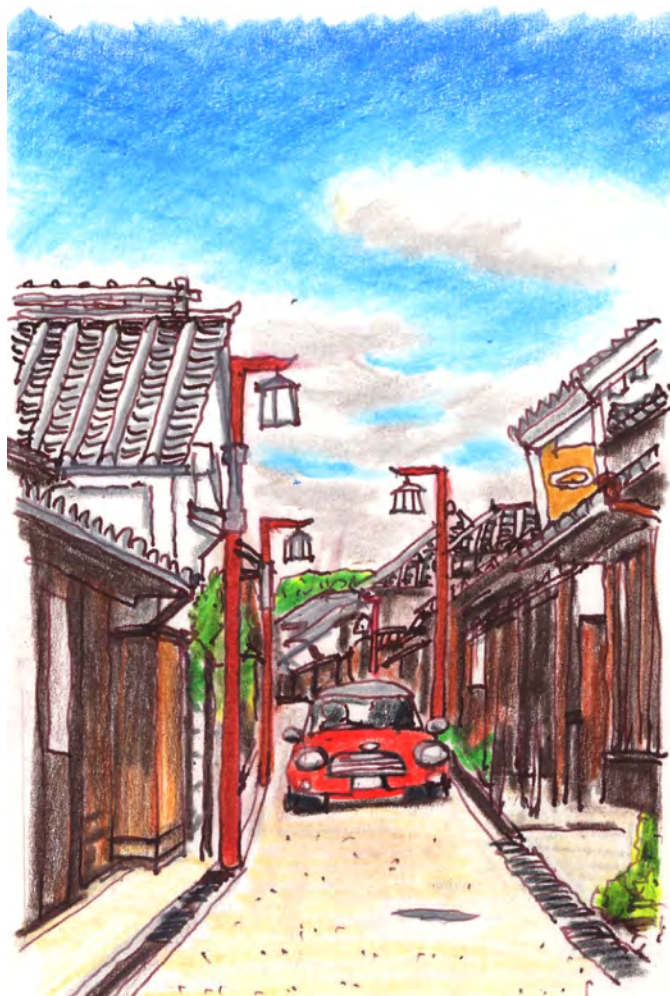
大阪に出張で1泊したら、奈良まで足をのびしてのブリージャーWalkはいかがでしょう。近鉄特急で30分。大和八木駅から7分も歩けば、江戸時代にタイムスリップしたかのような今井町があります。

今井町の起りは天文年間(1532~55)、本願寺の今井兵部が御坊・称念寺を開き、寺内町(じないまち)がつくられたことに発します。寺内町とは当時勢力を拡大していた織田信長に抵抗した本願寺が、農民たちを一向宗の門徒化し、諸国の浪人や商人を集めて抵抗した町のこと。

各地で一向一揆が起こり、今井町も濠と土居を巡らせて武力を高めました。本願寺の降伏に伴い、明智光秀のとりなしで武装放棄。信長は濠の埋め立てを条件に今井町を開放しました。その後の今井町は商工業都市として大いに発展し、「今井千軒」「海の堺 陸の今井」と呼ばれるほどになりました。

17世紀後半には幕府領となり、独自の紙幣「今井札」が流通するなど、「大和の金は今井に七分」「金の虫干し玄関まで」と言われるほどに繁栄していました。

東西600m、南北310mの区内に約500棟(全棟の1/3)の伝統的建造物があり、国の重要文化財9件、県指定文化財3件、市指定文化財が5件もあって、平成5年には「重要伝統的建造物群保存地区」に指定されました。



## 伝統建築の街並を彷徨えば... 奈良県 今井

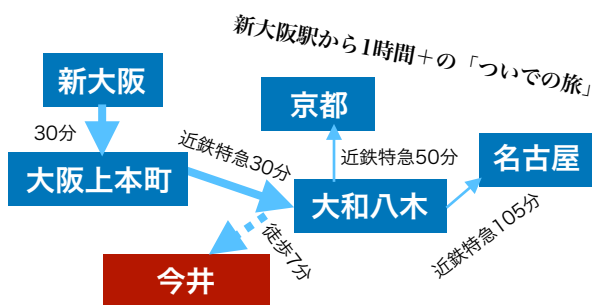
飛鳥川の流れにかかった蘇武橋を渡ると今井町があります。江戸時代そのまま残され、時代劇の撮影などにも使われる町並みは、その伝統建築の密度の高さで、間違いなく日本一。あまりにも生活に溶け込んであるので観光のインパクトが小さいほど。散歩の順序としてはまず明治36年築の「まちなみ交流センター華豊」で情報収集。今井町のジオラマに驚かされます。そこから歩いて、文化財の家を見学。どこでも丁寧な解説をいただいて(日曜だからか?)感動。お腹が空いたら町家茶屋「古伊」で古伊そば。盛り付けがとても綺麗。その先の珈琲さとうではお座敷で庭を眺めながらの念入り珈琲。これで3~4時間。



街全体のジオラマ 今井町まちなみ交流センター 明治36年築



濠(今はない)が囲む寺内町 旧米谷邸 重要文化財 18世紀中頃



檀原神社 ※時間があれば足を延ばしましょう

新大阪駅から大阪上本町まで行き、そこから近鉄特急で大和八木へ。ここまでは1時間強。今井は八木西口駅が最寄り駅だが、乗り換えが面倒なので大和八木から歩きましょう。7分もあれば今井に着きます。復りは新大阪に戻るより、京都または名古屋へ...という選択肢があります。東京へ帰るなら名古屋経由が交通費も安く済んで、乗り換えの面倒もありません。名古屋までの特急は105分で毎時1~2本。  
今井観光案内 [http://www.city.kashihara.nara.jp/kankou/own\\_imai/kankou/imaichou/](http://www.city.kashihara.nara.jp/kankou/own_imai/kankou/imaichou/)



古伊の古伊そば (550円)



珈琲さとう 座敷で庭を眺めながら